

リンゴ褐斑病と黒星病を同時防除できる 「開花直前」の防除薬剤

【概要】

褐斑病と黒星病が併発する園地では、「開花直前」に両病害を同時防除する必要があります。今般、両病害に効果の高い新規 SDHI 剤が登録されたので、開花直前散布による防除効果を検討しました。

- 開花直前の薬剤選択による褐斑病と黒星病に対する防除効果
 - 褐斑病：従来の重点防除時期（落花期～落花 20 日後）に加えて、開花直前にピジフルメトフェン・マンゼブ水和剤（商品名：キワミ P Z 水和剤）を散布すると、夏の早期発生を抑制できます（図 1）。
 - 黒星病：花蕾着色期の防除に加えて、開花直前にキワミ P Z 水和剤を散布すると、果そう葉および新梢葉での発生を抑制できます（図 2）。
 - 以上から、開花直前にキワミ P Z 水和剤を散布することによって、褐斑病と黒星病を同時防除できます。
- 褐斑病の今後の防除体系は下表のとおりです。褐斑病の前年発生園では、本成果による一次感染期防除に加えて、二次感染期防除を併用して下さい。

表 褐斑病を重点対象とした防除体系

防除時期	散布別	薬剤名（商品名）	防除対象
開花直前	定期	キワミ P Z 水和剤、オンリーワンフロアブル	一次感染
落花期～ 落花 20 日後	定期	デランフロアブル ラビライト水和剤	
6 月中・下旬	特別	ユニックス顆粒水和剤 47	二次感染
7 月上旬	定期	パスポート顆粒水和剤	
7 月中旬	特別	トップジンM水和剤／ベンレート水和剤	
8 月以降	特別	トップジンM水和剤／ベンレート水和剤	

※太字：本成果による防除法

【試験データ等】

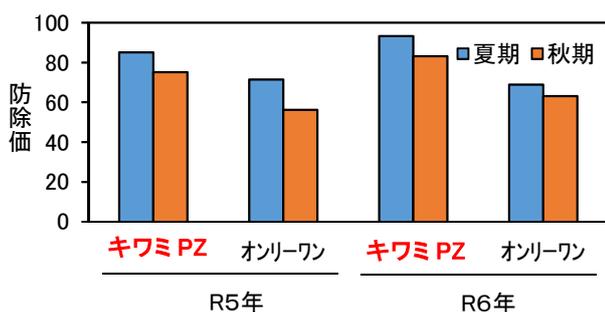


図 1 褐斑病に対する開花直前散布の防除効果

※防除価：無散布（R5年）又は対照剤（カナメ、R6年）との比較

摘要）キワミ P Z の開花直前散布はオンリーワンと同様に、夏の早期発生は抑制するが、感受性が高まる秋期までは防除効果が持続しない。このため、二次感染期防除の併用が必要。

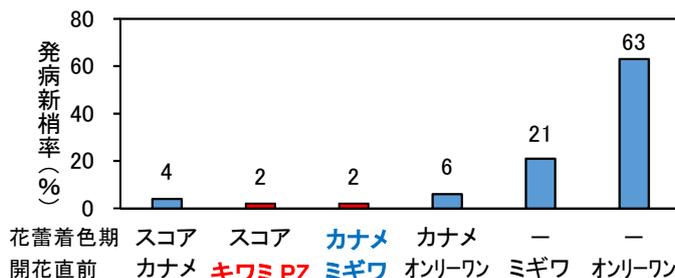


図 2 黒星病に対する花蕾着色期と開花直前の体系防除効果（R6年、盛岡市）

摘要）少発年での試験。開花直前のキワミ P Z は、前年発生園での防除体系（カナメーミギワ）と同等の防除効果。

なお、黒星病の前年発生園では、花蕾着色期との体系防除（カナメーキワミ P Z）が必要。

【令和6年度成果】リンゴ褐斑病と黒星病を同時防除できる「開花直前」の防除薬剤（R6-指-13）